

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商工・エネルギー政策課 エネルギー係 電話番号：058-272-1111(内3622)

E-mail：c11351@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,000 千円 (前年度予算額： 2,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,000	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000
要求額	2,000	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額	2,000	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では、2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現に向けたエネルギー政策を推進するため「エネルギービジョン」を策定し、水素社会実現への取組みを推進している。

2022年2月、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市及び経済3団体、中部圏水素利用協議会は、2050年の「カーボンニュートラル」達成の重要な役割を占める水素社会実現に向け、中部圏において大規模水素サプライチェーンの社会実装を共同で推進・連携することを目的として、「中部圏における大規模水素社会実装の実現に向けた包括連携協定」を締結した。

本協定に基づき設立された中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議では、主に水素エネルギー利用促進を図るモデル実証、人材育成・理解増進、プロモーションや情報発信等の水素の利活用促進に取り組むこととしている。

(2) 事業内容

負担金 2,000千円

- ・セミナー・研修会開催
- ・中部圏内外へのイベント出展
- ・公式ウェブサイト構築
- ・ワークショップ開催 等

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県エネルギービジョンの重点プロジェクトである「脱炭素社会促進プロジェクト」の取組みの一つとして位置付けている、水素社会実現に向けた取組みを推進するため、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	2,000	・セミナー・研修会開催、イベント出展、公式ウェブサイト構築、ワークショップ開催等
合計	2,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県エネルギービジョン

(2) 国・他県の状況

愛知県、三重県、名古屋市、碧南市、知多市、東海市、四日市市等と共同で拠出

(3) 後年度の財政負担

事業の効果を検証しつつ、2030年度まで実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

水素社会実現には、中部圏での広域的かつ大規模な取組みが必要であるため、中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議に負担金を拠出することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

水素利活用促進を通じて、エネルギービジョンにて目標を設定しているFCV普及台数に達成すること。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①FCV普及台数 (累計)	71台	99台	206台	251台	295台	34%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	2050年カーボンニュートラルに向けて、水素社会の実現については国策で取組まれおり、令和5年6月には水素基本戦略の改定が行われた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 1	事業の実施に当たっては、協議会員と意見交換、情報交換等を行いながら、適切な事業の執行について検討を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 水素に関する設備や燃料電池自動車、そもそもの水素が高価であり、県民生活や経済活動に浸透する間に時間を要する。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 協議会員と連携しながらより効果的な普及啓発を行っていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】